

# シニア土木技術者が語る誇りとノウハウ ⑦

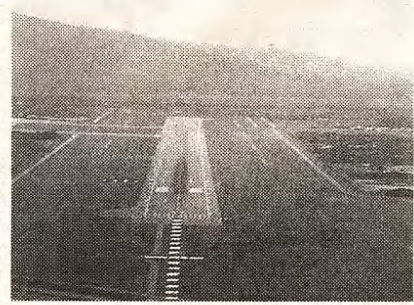
1987年竣工当時の  
ランカウイ国際空港

## 酒井豊氏(元佐藤工業)

■少ないわが国の海外工事業  
建設会社に入社後10年間、日本  
で業務を行った後、71年から  
ほぼ定年までの27年間、シンガ  
ポールに4年、マレーシアで23  
年間、海外建設工事に従事した。  
98年に帰国後、縁あって、04年に  
1年間ラオスで仕事をやる機会  
もあつた。

■クレーム担当で十二指腸潰  
瘍に  
わが国建設業者の海外工事業  
が少ない大きな原因の一つに、  
海外工事の契約方式の主流をな  
す欧米方式に不慣れという点が  
ある。シンガポールとマレーシ  
アで建設工事に従事したが、こ  
の2国はイギリスの旧植民地の  
ため、工事契約方式は欧米方式  
が主流をなしている。

だったが、このマレーシアの人  
たちは、その後、建設業者として  
育っていった。  
ソフト面では、欧米の約款仕  
様書の下、ヨーロッパのコンサ  
ルタントの管理下での工事施工  
となる。コンサルタントは、予算  
の実権も持っている。すべての  
作業は、書面によるコンサルタ  
ントの指示を確認後に施工、施  
工上のすべての事項を書類処理  
し、クレーム事項が発生したら、  
その都度直ちに書面で申請して  
おく必要がある。当工事で、主  
任技術者として、コンサルタン  
トとの折衝、クレームを担当し  
た。工事中に十二指腸潰瘍を患  
った。



用の滑走路を備えた  
国際空港だが、航空  
機の離着陸ルートの  
選定も含み、管制、航  
空機誘導など、国際  
空港の全施設と設備  
を設計施工フルター  
ン・キー方式で受注  
し、87年に完工した。  
これは、生涯忘れら  
れない思い出となっ  
ている。

### ■アジアとの協力 関係密に

海外工事に従事し  
て思うことは、まず、  
日本の建設海外輸出  
の活発化を望むが、  
欧米方式契約ルール  
の下で、採算性を上げる方策の  
さらなる検討が必要なことであ  
る。また、海外でのコンサルタン  
ト業務は、日本の官庁が行う川  
上業務も含んでおり、民営化さ  
れたJ Rや公団などが、民間コ  
ンサルタントと組んで海外進出  
ができないものだろうかと思  
う。さらに、アジアとの協力関係  
をもっと密にし、一体化を強固  
なものにしないと、欧米が割り  
込んでくる可能性がある。

# 海外工事にかけた土木屋人生

■採算性難しい欧米式契約  
最終清算の後、クレーム交渉  
となり、約款、仕様書等、契約書  
のルールに従い査定される。  
コンサルタントの査定は、当方  
で完全に妥当と思われる金額の  
20%ほどしか認められなかつ  
た。最終的には、発注者の公共事  
業省がコンサルタントの査定は  
公平でない判断し、独自に査  
定を行い、コンサルタント査定  
額の4倍の金額を認めてくれ  
た。書類処理をルール通りに行  
っていないと、仕事をしてもお  
り、受注に成功した。エアバス適  
の根の交流が大事だと思つた。

### ■国際空港丸ごと受注

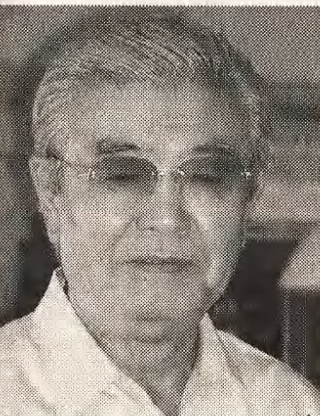
え付け、アスファルト舗装まで、  
あらゆる工種の施工を行った。  
また、必要なプラント、工用具機  
械はすべて日本から輸入した。  
施工面では、マレーシア人の作  
業員を直接指導し、世話役業務  
を職員が行い、毎日の細かい段  
取りも行った。OJTそのもの  
が少ないかが分かる。

本では到底不可能な工事を受注  
することになった。  
大の日本びいきで、81年から  
03年まで首相を務め、マレーシ  
アを近代的な工業国に変身させ  
たマハティール首相が、出身州  
のケタにあるランカウイ島のリ  
ゾート開発のために、国際空港  
建設を計画。当工事で競合する  
他業者との競争に勝ち、首相を  
トップとする空港建設委員会と  
の交渉に、折衝主任として当た  
り、受注に成功した。エアバス適  
の根の交流が大事だと思つた。

らみでラオス留学生との交流会  
を続けている。8月12日には、ラ  
オス留学生13人を含む30人で、  
大阪府箕面市大滝で「大国際文  
化交流会」を開催した。建設業の  
海外輸出を増やすためにも、草  
の根の交流が大事だと思つた。

# 築土構木の軌跡！

—地域に夢を刻んだCVV(シビル・ペテランズ&ボランティアズ)—



(さかい ゆたか) 61  
年大阪大学工学部建築工  
学科卒、佐藤工業入社。日  
本国内の現場で活躍後、シ  
ンガポール、マレーシ  
アなど海外工事に従事。  
99年4月同社クアララン  
プール支店長を経験をら  
ず退職。豊富な海外経験  
を活かし、ラオス留学生  
との交流を深めサポ  
ーター。兵庫県出身、68歳。

# ラオス留学生と草の根交流深める

らみでラオス留学生との交流会  
を続けている。8月12日には、ラ  
オス留学生13人を含む30人で、  
大阪府箕面市大滝で「大国際文  
化交流会」を開催した。建設業の  
海外輸出を増やすためにも、草  
の根の交流が大事だと思つた。

土木学会関西支部創立80周年